［特集 1］箱根駅伝 初出場!!

襷（タスキ）にかけた熱き思い。陸上競技部駅伝部が箱根路を疾走!

Debut in the Hakone Ekiden!

Passing the"tasuki" with our dreams – Soka's long-distance relay team races along the roads of Hakone!

84

創価大学ニュース

2015

Winter

SUN

Soka Univ. News

箱根駅伝初出場
1区を疾走する山口主将

［特集 2］

「スーパーグローバル大学」に採択！4つの事業でさらなる国際化を図る

人間教育の世界的拠点の構築

Selected as a"Super Global University"! Increasing internationalization through four projects

Global Initiative for Humanistic Education

［特集 3］

「理工学部」が2015年4月にスタート!

共生創造理工学科が文部科学省より認可されました!

Faculty of Science and Engineering opens in April 2015!

MEXT Approve "Science and Engineering for Sustainable Innovation" !

ボーダーを越えて

Soka University Students -

長い試練の時を経て、歴史的な一歩を走りはじめたチーム。負けじ魂を胸に、厳しい実力勝負の世界に飛び込む友。悪天候を突き抜けて、人類未踏峰のヒマラヤの山を制覇した女子学生……。

予選会の壁を越え、
箱根駅伝本大会初出場！詳細はP4

上:箱根駅伝鶴見中継所で1区・山口修平主将から襷を繋ぐ2区・後沢広大選手

上:千葉ロッテマリーンズから4位指名を受け、硬式野球部の監督、仲間とガッツポーズする寺嶋寛大選手

右:天下の険を駆け抜け、往路フィニッシュする5区・セルナルド祐慈選手

活躍する創大生
– Active Across Borders

創立50周年に向け、自身の限界突破に挑戦する創大生が、いま各分野で陸続と現れています。
自分の力を信じ、友と励まし合いながら、未来を切り拓くために一歩ずつ前進しています。

千葉ロッテマリーンズに
4位指名!詳細はP13

限界を越え、ヒマラヤ山脈未踏峰
マンセイル峰登頂に成功!詳細はP14

上:登頂を終え、大学で祝福の花束を受ける長谷川恵理さん
下右:ヒマラヤ山脈・マンセイル峰(6242メートル)の頂上にて隊員と共に
下左:ベースキャンプを出発する長谷川恵理さん

学生たちの生の声をお聞きください!

ＡＲｅａｄｅｒの使い方

STEP1 ARアプリ「AReader」をインストールします。

iPhoneはこちら

Androidはこちら

Playストア、App Storeから「AReader」アプリをダウンロード。ダウンロードは無料です。

STEP2 ARアプリ「AReader」を起動します。

STEP3 AReaderのマークを読み取り、映像を鑑賞します。

【注意事項】●動画はカメラ付きスマートフォンやタブレットのみでご覧いただけます。ご利用のスマートフォンやタブレット機種、設定環境によってはご利用いただけない場合がございますのでご了承ください。●アプリ「AReader」のご利用は無料ですが、アプリのダウンロード、動画閲覧には通信料がかかります。定額制プランを契約されていない場合、高額になる恐れがありますのでご注意ください。●LTE回線またはWi-Fi回線でのご利用をおすすめします。3G回線では極端に読み込みが遅くなることがあります。●この動画を無断でインターネットなどで配信する事は違法です。※App StoreはApple Inc.のサービスマークです。※Android、GooglePlayはGoogle Inc.の商標または登録商標です。

箱根駅伝 初出場!!

襷（タスキ）にかけた熱き思い。陸上競技部駅伝部が箱根路を疾走!

箱根駅伝予選会出場より32年。悲願の箱根駅伝本大会初出場を勝ち取った創価大学駅伝部が夢の箱根路を疾走。彼らの闘志あふれる走りは、多くの方々へ勇気と感動を与えてくれました。本大会での選手たちの活躍、念願の本選初出場までの軌跡に迫りました。

一斉にスタート!

第91回箱根駅伝が開幕!史上42校目の出場校として、新たな歴史を刻んだ創価大学。1区を任された山口修平主将が勢いよくスタート!（左端）

執念の襷リレー

8区・新村健太選手（左）と9区・彦坂一成選手（右）の襷リレー!
繰り上げスタートまで約1分、母校の襷を執念で繋いだ

沿道での熱き応援

白雪の富士が見守る中、力走をみせた8区の新村健太選手。
沿道の大応援団を受け、粘りの走りで襷を繋いだ

Debut in the Hakone Ekiden!!

Passing the 〝tasuki〞 with our dreams
Soka's long-distance relay team races along the roads of Hakone!

スマートフォンで動画を見てね!

第91回 箱根駅伝

ARリーダーの使い方はP3 参照

1区 21.3km

最低でも5位で襷を繋ぐと宣言しておきながら、区間13位という結果に残念ではありますが、現状を受け止め、次に繋げます。安心してもらえるエースに成長し、シードをとれるチーム作りをしていきます。応援に勇気をもらいました。ありがとうございました!

山口 修平選手
3年／鯖江高
区間記録：1:02:46

2区 23.1km

エース区間・2区の厳しさを感じる中、創価大学の幟に、途切れることのない声援に、力をもらいました。多くの方に名前を呼んで声援をいただき、まるで声援に走らされているようでした。来年堂々と箱根の舞台で戦えるようしっかりとここから力を付けていきます!

後沢 広大選手 3年／飯田高 区間記録：1:12:26

3区 21.4km

初めての大舞台でかなり緊張し、思うように足が動きませんでした。しかし、沿道から応援してくださった方から一番きつくなった時に声をかけていただき、諦めずに走り切ることができました。この悔しさを次に繋げていきます。必ず来年この箱根でリベンジします!

蟹澤 淳平選手 1年／佐久長聖高 区間記録：1:07:27

4区 18.5km

区間10位という結果に、監督からも"良かったよ"と言っていただきましたが、自分としては区間賞を狙っていましたので、悔しいです。力を付け、安心して1区、2区を任せてもらえる選手に成長します。応援が力になりました。本当にありがとうございました!

大山 憲明選手 1年／大牟田高 区間記録：0:56:34

5区 23.2km

苦しい山登りになり、前に進んでいる感覚もなく、不安に襲われることもありましたが、山の中でも創価大学の幟と声援が途切れず、どうにか踏ん張ることができました。最後は笑顔でと決め、全力を出し切る走りができました。力を付け、来年、再びあの山に挑みます!

セルナルド 祐慈選手
2年／富士宮西高
区間記録：1:25:32

6区 20.8km

本大会出場を決めてくれた仲間やサポートしてくれた方々、両親に感謝の思いを込め走りました。悔いなく自分の走りができたのも、往路選手の頑張り、共に挑んだ部員たちのお陰です。後に続く後輩たちが必ずシード権を取ってくれると信じています!

小島 一貴選手 4年／中津商高 区間記録：1:00:51

7区 21.3km

予選会を走っていないため、20kmもの距離を走るレースはこれが初めてでした。思ったような走りをすることができず、申し訳ない思いでいっぱいですが、シューズにThanksと感謝の言葉を刻み、何としても応援に応えたいとの一心で走りました。応援に本当に感謝です!

江藤 光輝選手 1年／桂高 区間記録：1:06:33

8区 21.4km

亡き父に誓った箱根駅伝出場でした。走りに悔しさは残りますが、苦しさに意識が朦朧とする中、沿道の声援のお陰で走り切ることができました。〝繰り上げスタートにするものか!襷を繋ぐ!〞との一心でひたすら足を前に出し続けました。力を付け、必ず箱根に戻ります!

新村 健太選手
3年／村上桜ヶ丘高
区間記録：1:08:54

9区 23.1km

15キロあたりで、思うように足が進まなくなる場面がありましたが、沿道の大声援に励まされ、最後まで走り切ることができました。襷を繋ぐことができず、悔しい思いでいっぱいですが、この悔しさをバネに練習を積み、また絶対に箱根路に戻ってきます!

彦坂 一成選手
2年／豊川高
区間記録：1:13:07

10区 23.0km

苦しいと感じた時、コーチが4年生全員の名前を叫びました。仲間の顔が次々に浮かび、泣きながら走りました。ゴール直前は、〝後輩が必ずこの箱根の歴史に続く!〞と、思わず来年の1区のメンバーにと襷を手にしていました。仲間、スタッフ、4年間の全てに感謝です!

沼口 雅彦選手 4年／日章学園高 区間記録:1:17:30

1年生の襷リレー

3区・蟹澤淳平選手（左）と4区・大山憲明選手（右）の襷リレー!大山憲明選手は区間10位の力走をみせた

難所に挑む!

「天下の険」と呼ばれる箱根の難所、山登りの5区に挑んだセルナルド祐慈選手

大学生活ラストラン!

6区・小島一貴選手。大学生としてのラストランを力強く走り切った

「たくさんの応援ありがとうございました!」

たくさんの応援ありがとうございました。来年はシード権獲得を目指し、今回の悔しさを胸に「負けじ魂」で練習に励んでまいります。チーム全員がもっと強くなって必ずこの場所に帰ってきます。**（監督　瀬上雄然）**

「また箱根に帰ってきます!」

たくさんの幟（のぼり）をかかげての応援本当にありがとうございました。今回優勝した青山学院大は2009年の大会では最下位でしたが、次の年にはシードを獲りました。私たちは力を付け、必ずシードを獲れるチームになって箱根へ帰ってきます。応援よろしくお願いいたします。**（主将　山口修平）**

田代理事長より挨拶

この度の箱根駅伝初出場に際しまして、全国また世界各地の卒業生及び支援者の皆様方より本学陸上競技部駅伝部への熱烈なる応援とご声援を賜り、心から御礼を申し上げます。初出場の全選手たちは、全員が全力を出し切り完走し、多くの人たちへ感動を与えてくれました。襷を1区から9区まで繋ぎ切り、ラスト10区も大学の襷。全区間を創価大学の襷で走ることができ、本学の新たな歴史を開いてくれました。箱根駅伝出場校のレベルは高いですが、今回を一歩として来年も必ず出場すると確信し大学として全力を尽くしてまいります。

瀬上監督をはじめ、コーチ、陸上部のスタッフ、寒い中応援をしてくれた創価大学パイオニア吹奏楽団、チアリーディング部・パンサーズ、学友会の皆さん、沿道で熱い声援を送ってくださった全ての皆様、本当にありがとうございました。また、多くの方々から賜りました真心のご寄付は大会参加の経費や同部強化、寮の改修、グランド整備等の充実に充てるようにいたします。

皆様方の心からの盛大なご声援、本当にありがとうございました。　**（理事長　田代康則）**

本大会初出場までの道

2014年10月18日、第91回箱根駅伝（東京箱根間往復大学駅伝競走）の予選会が東京・立川市の陸上自衛隊立川駐屯地・国営昭和記念公園で行われ、本学陸上競技部駅伝部が第10位に入り、悲願の箱根駅伝本大会初出場を決めました。本大会出場権10枠をかけて争われた予選会は、結果発表時に「第10位　創価大学」とコールされた瞬間、全員で一斉に声をあげ、喜び合いました。本学陸上競技部駅伝部からは12名が出場し、全体の6位に山口修平選手（法学部3年）、49位に後沢広大選手（経営学部3年）が入るなど、個々の強さに加え、集団走という団結の作戦も功を奏し、創価大学として過去最高タイム（10時間14分03秒）を出し、見事本大会出場権を初めて獲得しました。

◉これまでの歩み

1972年	創価大学陸上競技部　創部
1982年	箱根駅伝予選会　初参加
1990年	陸上競技部強化（スポーツ推薦制度導入）
2003年	箱根駅伝（学連選抜）初出場　第4区／野崎 天馬
2005年	箱根駅伝（学連選抜）第6区／竹下 友章
2010年	箱根駅伝（学連選抜）第3区／尾関 誠　第10区／福島 法明
2011年	箱根駅伝（学連選抜）第4区／樋口 正明　第10区／福島 法明
2013年	箱根駅伝（学連選抜）第4区　山口 修平
2014年	箱根駅伝予選会10位（箱根駅伝出場権獲得）
2015年	箱根駅伝本大会初出場（総合20位）

大人気の限定駅伝グッズ

マフラータオル
¥800（税込）

駅伝QP　¥500（税込）

箱根駅伝初出場の記念としてマフラータオルと駅伝キューピーが完成!箱根駅伝連続出場に向けて応援をよろしくお願いいたします。

通信販売は㈱創学サービスのホームページからご利用できます。
㈱創学サービス → http://sogakuservice.co.jp/

「スーパーグローバル大学」に採択!4つの

人間教育の世界的拠点を構築

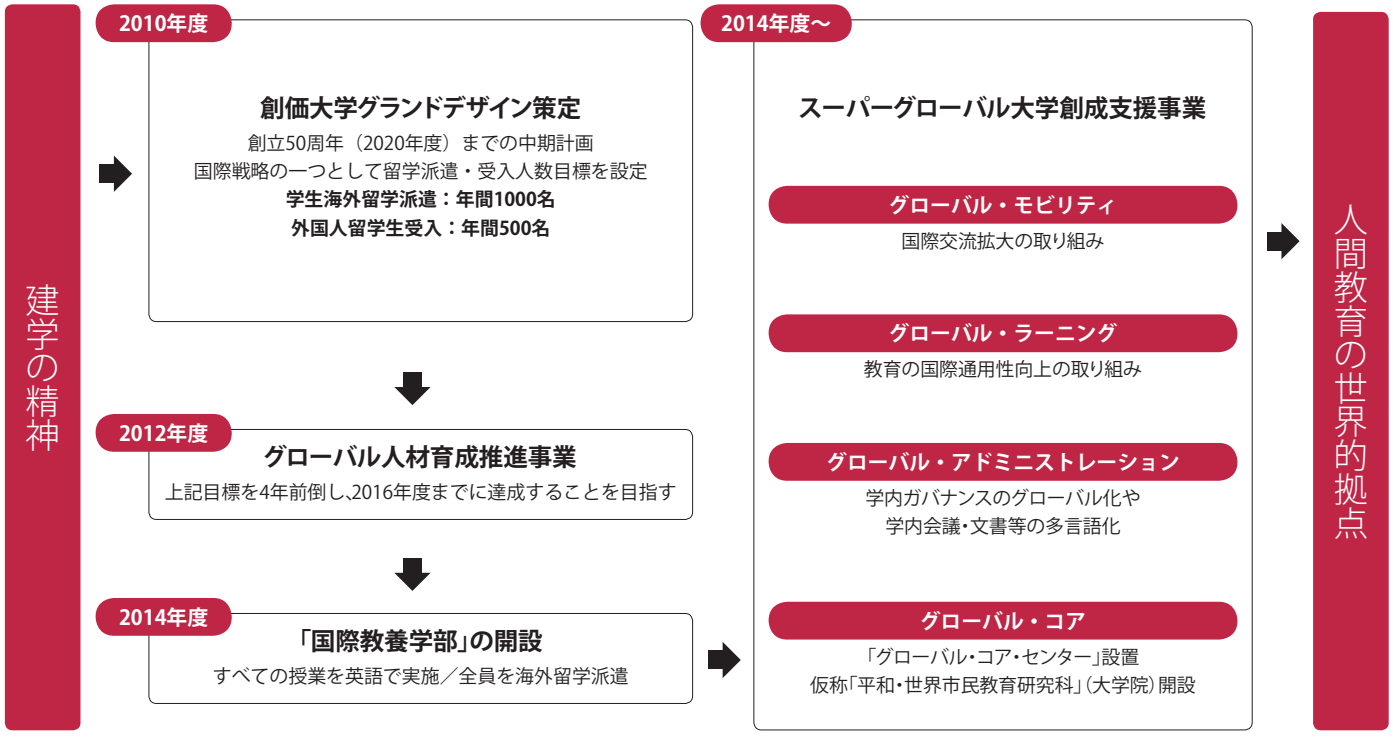
9月26日に、2014年度の文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」事業の採択結果が公表され、本学申請の「人間教育の世界的拠点の構築―平和と持続可能な繁栄を先導する『世界市民』教育プログラム」が、我が国、社会のグローバル化を牽引する大学を対象とした「タイプB（グローバル化牽引型）」に採択されました。

「人間教育の世界的拠点」構築に向けた取り組み

本事業は「我が国の高等教育の国際競争力の向上を目的に、海外の卓越した大学との連携や大学改革により徹底した国際化を進める、世界レベルの教育研究を行うトップ大学や国際化を牽引するグローバル大学に対し、制度改革と組み合わせ重点支援を行うこと」を目的としています。

タイプBには、全国の国公私立大学93大学が申請し、そのうち24大学（国立10大学、公立2大学、私立12大学）の一つとして、創価大学が採択されました。今回採択された主な事業構想として、本学がこれまで進めてきたグローバル人材の育成をより加速するため「グローバル・モビリティ」「グローバル・ラーニング」「グローバル・アドミニストレーション」「グローバル・コア」の4つの事業に取り組みます。第1に、教育環境の国際的多様性を促進するために、外国人留学生や海外派遣日本人学生などの拡大を目指す「グローバル・モビリティ」の取り組み、第2に、教育プログラムの国際的通用性の向上を図る「グローバル・ラーニング」の取り組み、第3に、学内会議・文書等の英語対応や、外国人教職員等の割合を増やすなど、学内ガバナンスのグローバル化を促進する「グローバル・アドミニストレーション」の取り組み、第4に、教育・研究におけるグローバル化の推進を総合的に担う「グローバル・コア・センター」を設置し、さらに国際機関やグローバル企業で活躍する高度な人材を養成する仮称「平和・世界市民教育研究科」（大学院）の開設を進める「グローバル・コア」の取り組みです。

◉創価大学のグローバル概要



事業でさらなる国際化を図る

スマートフォンで動画を見てね!

「スーパーグローバル大学」に採択

ARリーダーの使い方はP3 参照

Selected as a“Super Global University”! Increasing internationalization through four projects.

Global Initiative for Humanistic Education

On September 26, the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT) released the 2014 list of universities selected to become a part of their “Top Global University Project.” Soka University was selected as a Type B School (providing global traction) for our plan titled, “Global Initiative for Humanistic Education: Fostering Global Citizens for Building Peace and Sustainable Prosperity.”

◉成果指標と達成目標

	2013年度	2016年度	2023年度
外国人留学生数	313人（3.8%）	600人（7.3%）	**1215人（14.5%）**
単位取得を伴う日本人留学生数	557人	868人	**1260人**
外国人教員等	43.3%	48.7%	**68.0%**
外国人職員等	2.4%	6.7%	**14.4%**
語学基準達成学生	653人	700人	**1500人**
外国語による授業	3.3%	5.5%	**10.0%**
外国語で卒業可能	1コース	4コース	**10コース**
英語化シラバス	11.3%	23.0%	**28.8%**
TOEFL等外部試験による入学定員	24.0%	46.0%	**46.0%**

この10年間で具体的な成果を上げる

2023年度までに、外国人留学生数を全学生の約15％に拡大、単位取得を伴う日本人留学生数1260人に拡大、外国語で卒業可能なコースを10コースに増やすなど、具体的な成果指標と達成目標を立て取り組んでいきます。

1971年の開学以来、重要視してきた国際交流。「世界市民育成」という構想のもと、ロシア・モスクワ大学や中国・北京大学をはじめ、これまでの交流協定校は48ヶ国・地域152大学（2014年11月現在）に広がり、これらの海外とのネットワークを最大限に生かし、活発な交流を行ってきました。また、学内においても、学生の語学学習をサポートする設備の充実に努め、TOEICテストでは、4年間の在学期間中に400点以上スコアを伸ばす学生や、国際ビジネスレベルの基準と言われる730点を上回る学生が続々と誕生するなど、着実に結果に現れてきています。

グローバル社会と呼ばれる今日において、大切なキーワードとなってくる「多様性」。より一層多様性が増すこの社会の中で、勇気、智慧、慈悲、そして卓越した語学力を兼ね備えた創造的世界市民を輩出すべく、一段と教育環境が充実していきます。

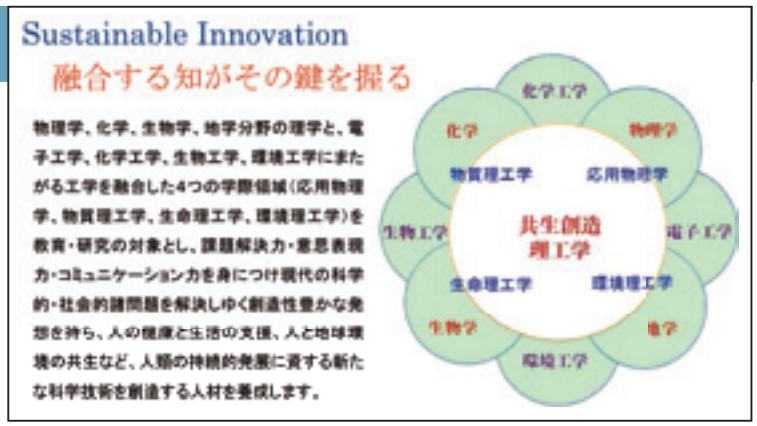
「理工学部」が2015年4月にスタート!

共生創造理工学科が文部科学省より認可されました!

2015 年 4 月から工学部は新たに理学の分野を加えて、理工学部へと名称変更し、新設する「共生創造理工学科」と既存の「情報システム工学科」の２学科体制となります。共生創造理工学科では「応用物理学」「物質理工学」「生命理工学」「環境理工学」の４つの専門領域、情報システム工学科では「数理科学」「知能情報工学」「ヒューマン支援ロボット」の３つの専門領域を希望に応じて学ぶことができます。

「共生創造理工学科」とは

従来の学科との違いは、理学分野を充実させたことです。「理学」とは真理を探究する学問で、自然の原理を解明することです。これに対して「工学」とは、「理学」の知識を応用して、人の役に立つ物やシステムなどを開発するための学問です。近年はこの「理学」と「工学」が相互に補完することで、新たな原理の発見や応用研究などが行われることも少なくありません。共生創造理工学科では、基礎から応用まで幅広く学べるように授業科目を設置しました。



カリキュラムの特色

１年次には、物理や化学、生物・地学といった理科系の科目の基礎をしっかりと身に付ける専門基礎科目や、能動的な学習を促す「プロジェクト・スタディーズ」を導入し、少人数でのグループ学習を行い、自分たちで実験や研究を行う中で試行錯誤しながら、自ら解決策を考える「創造力」を培う素養を身に付けます。

２年次後期からはそれぞれの希望に応じた専門領域を中心に学ぶことができます。

その他にも、語学力と国際理解をかね合わせた、理工学の基礎知識と工学技術を国際的な技術協力に結び付ける能力を養い、発展途上国、新興国等へ展開できる人材を育成する「国際技術協力EP（Educational Program）」や中学・高校の教員を目指す学生のための「教員養成ＥＰ（Educational Program）」など多彩な人材を養成するプログラムも準備されています。

カリキュラム全体図

Faculty of Science and Engineering opens in April 2015!

MEXT Approve〝Science and Engineering for Sustainable Innovation〞!

理工学部　QRコード

「共生創造理工学科」の4つの領域

応用物理学領域

●光電子物性
●光ファイバ
●フェムト秒レーザ
●人工衛星

先端物理の基礎として光科学や量子力学を学ぶとともに、レーザなどの量子ビーム科学、非線形光学現象、物質との相互作用、センシング技術等の応用について学びます。

物質理工学領域

●機能性物質
●分子設計
●ナノテクノロジー
●物性科学

自然科学の中心をなす学問分野である化学を基礎から学び、物質の根源や性質、反応や変化を学びます。そしてそれを応用した新規物質の合成やエネルギー等について広く学びます。

生命理工学領域

●iPS細胞
●ウィルス感染
●脳・神経科学
●ゲノム情報

生命体の分子から生体までの機能や構造を学ぶとともに、それらの理解を情報化（インフォマティクス）する技術とその活用法、また医療や農業などへの工学的応用について学びます。

環境理工学領域

●地球科学
●生態学
●グリーンテクノロジー
●廃棄物処理工学

地球科学的視点から生態系の物質循環、自然環境の保全と修復を学ぶとともに、環境に優しい技術、快適な生活を確保するために必要な「工学的な考え方」を学びます。

「情報システム工学科」の3つの領域

2014年度より数学系・数理科学系の科目をより充実させるとともに、カリキュラムの自由度を高め、留学に行っても４年間で卒業ができるようになりました。以下の３つの領域の中から、将来の進路や興味に応じて選択し、学ぶことができます。また、少人数のゼミ形式で行う、能動学習と課題解決型学習の要素を加え、幅広く数理的思考を持った人材を育成します。

数理科学領域

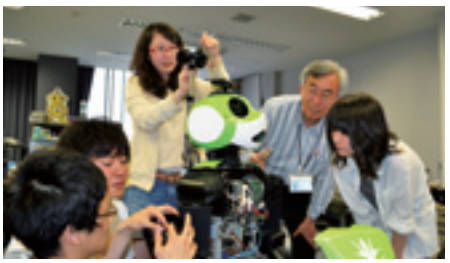
理工系の学問の中で最も基礎的といえる数学を中心に、その応用分野を含む数理科学を学びます。整数論、位相幾何学などの数学の根幹をなす重要課題のほかに、現実の自然現象をモデル化した上で数学的な手法を構築してメカニズムを解明する課題にも取り組みます。

知能情報工学領域

高度情報化社会を支えるコンピュータシステムの設計に役立つ理論的基盤、およびソフトウェア技術を中心に、情報通信ネットワーク、データベースなど現代において最重要とされる課題に関する専門知識を学びます。

ヒューマン支援ロボット領域

ロボットが人間の生活を支援するために必要な、ロボットの感覚となる画像センシング技術、動作をコントロールする制御技術、知能となる計算機アルゴリズムとコンピュータプログラミングを包括的に学び、ハードウェアからソフトウェアまでの幅広い実用的な技術を身につけます。



創大の
学問探訪

FILE 04

工学部環境共生工学科
戸田 龍樹 教授

環境破壊の原因を究明し、修復を目指す修復生態学

ラボでの実験とフィールドワーク、そして人とのネットワークが環境修復への道です。

Experimental labs, fieldwork, and building interpersonal networks are all necessary in environmental restoration.

海藻が繁る豊かな海を取り戻す!
町が期待を寄せるプロジェクトが始動

2台の筏(いかだ)が実験装置
特殊な吸着剤を使って生活排水から回収したリンを海中に放出するための装置を考案。リンを包んだ濾布からじわじわと放出させる装置(写真上)。リンと海水を混ぜた液を点滴潅水チューブから放出する装置(写真下)。この実験を3年間行う予定。

2014年10月、長崎県五島列島の新上五島町で町の未来を賭けたプロジェクトが始まりました。その名は「陸と海を繋ぐ"栄養塩循環システムによる藻場再生実証実験"」。藻場とは沿岸部に形成された海藻類の群落のことで、魚の産卵や稚魚の生育など海産物の棲息に欠かせない存在ですが、近年この藻場が各地で消失しているのです。新上五島町でも消失が進み、その影響で現在の漁獲量は最盛期のわずか3分の1。プロジェクトが成功すれば、海藻が繁る豊かな海が甦ると町全体が期待しています。このプロジェクトの代表者として中心になって活動しているのが工学部、戸田龍樹教授です。

生活排水を利用して藻場を再生!?
産学官民のプロジェクトチームの挑戦

戸田教授の専門は修復生態学。環境破壊の原因を生態学の観点から究明し、破壊された環境を修復するという環境学の先端を行く研究です。

「我々の研究は一つの研究室だけではできません。このプロジェクトもノウハウを持つ企業、地元の長崎大学水産学部、地元自治体、地元漁協など産学官民の力を結集して取り組んでいます」と戸田教授は語る。

しかし、こうした大規模なプロジェクトチームを作れるのも、戸田教授が培ってきた幅広い人脈と信頼関係があるからこそ。特に今回は、町内の汚水処理場の排水からリンを集めて海藻の栄養として活用するという全く新しい実験です。事前の調査で、この海域には海藻の生育に必要なリンが不足していることが判明し、リンの調達が成功への鍵となったのです。また、供給方法も重要で、急激なリンの供給は赤潮などを引き起こしかねません。そこで戸田教授が協力を依頼したのが、排水からリンを取り出し、ゆっくりとリンを供給できる資材を開発したセメント会社。戸田教授がこの会社の技術に目をつけたことで陸から海への循環システム構築が可能になったのです。

専門知識と高い技術を身につけ、世界に
羽ばたく卒業生たち

戸田教授の研究室では、ほかに相模湾の生態系調査、マレーシアのサンゴ礁生態系調査など、世界各地で数多くの研究を行っています。ラボ(実験室)での基礎研究に加え、こうしたフィールドワークによって鍛えられた学生たちは、卒業後は国内外の錚々たる大学や研究機関、国際ＮＧＯなどで研究者として活躍しています。「大学で学んだ知識や技術を社会貢献に繋げることは簡単ではありませんが、常に情報交換をすることで道が見えてきます。卒業生が世界に出て新しいネットワークを築いていく姿に希望を感じます」(戸田教授)。

Profile

戸田 龍樹
Tatsuki Toda

北海道大学水産学部水産増殖学科卒業、東京大学大学院農学系研究科博士課程修了(農学博士取得)後、東京大学海洋研究所特別研究員(日本学術振興会)、1991年創価大学工学部講師、2002年同大環境技術開発共同研究センター長、2003年同大教授、環境共生工学科長。横浜国立大学非常勤講師。専門は修復生態学、環境科学、生態工学。

世界に通用する研究者を目指しています!

土屋 健司さん(助教)
「戸田先生からは常に『一流の研究をしなさい』と言われ、4年生であってもそのレベル以上のものを求められてきました。必死に戸田先生についていき、本年、博士号を取得できました。この経験が確実に力を付けていると実感しています」(写真・奥)

古江 凌介さん(4年生)
「戸田先生の授業に魅せられて、この研究室に入りました。藻場再生プロジェクトの一員として、装置の点検や海藻の観察のため現地に3ヶ月間常駐。海にもぐって海中撮影をするなど、体を張っています!」(写真・手前)

学生の活躍 Student Activity

硬式野球部

硬式野球部が春・秋連続全国大会ベスト4!!

11月18日に明治神宮野球場で行われた「明治神宮野球大会」（主催：明治神宮・日本学生野球協会）の準決勝で、創価大学は明治大学（東京六大学野球連盟）と対戦。残念ながら2-6で敗れましたが、ベスト4に入る健闘を見せました。

春の全日本野球選手権大会と、秋の明治神宮野球大会あわせての全国ベスト4入りは初めて。硬式野球部の岸雅司監督は、「春秋連続全国大会ベスト4というのは初の快挙です。これまで、10回準決勝進出をしましたがすべて敗れました。今こそ創立者との誓いである師弟誓願の日本一を成し遂げるため、今まで以上の努力と、精進をする決意です」と、明年に向けての抱負を語りました。

そして、「2015年春には、ワールドグラウンド（硬式野球場）が人工芝に対応し、新たに生まれ変わります。2014年11月15日には創立者がワールドグランドの視察に来てくださいました。創立者のご期待に応えるべく、創価大学硬式野球部は勝利への誓いを胸にますます前進していきます！」と決意を述べました。

寺嶋寛大選手が千葉ロッテマリーンズからドラフト4位指名！

10月23日、2014年度プロ野球ドラフト会議が行われ、本学硬式野球部の寺嶋寛大選手（文学部4年）が千葉ロッテマリーンズから4位指名、また、本学卒業生で、現在、日本新薬硬式野球部で活躍する倉本寿彦選手（2012年度卒業）が横浜DeNAベイスターズより3位指名を受けました。

創大キャンパス内にある硬式野球部の寮で行われた会見で、寺嶋選手は「思っていたより上位で指名していただき、本当に嬉しいです。打って守れる選手を目指し、力を付けていきます」と抱負を語りました。

また、ロッテの入団会見後には、「入団会見も終わり、夢に見てきたプロの世界にいよいよ入るんだなと気持ちを新たにしているところです。ファンの方々にも“日本一になります！”と宣言しましたので、チームに貢献できるように頑張っていきたいと思います。先輩の小川投手と勝負ができる自分になることがまずは目標。とことん勝ちにこだわり頑張ります！」と力強い決意を語りました。

未踏峰登頂

長谷川恵理さんがヒマラヤ山脈の未踏峰・マンセイル峰に登頂!!

スマートフォンで動画を見てね!

長谷川恵理さん登頂の様子

ARリーダーの使い方はP3 参照

隊員・スタッフと共に（左から3人目が長谷川恵理さん）

ベースキャンプを目指して

氷河上

9月29日13時（現地時間）に、ヒマラヤ山脈の未踏峰・マンセイル峰（6242メートル）の登頂に成功した日本山岳会学生部女子ムスタン登山隊の一員で、本学の長谷川恵理さん（法学部4年）。

長谷川さんは、ネパールでの1ヶ月間を振り返りながら、「入り組んだマンセイル峰の絶景を、世界で唯一見たのが踏破した自分たちだけなんだ、という感動は今でも忘れられません。真っ青な空と川と山の自然しかない世界で、夜には文字通り見渡す限りの星空、昼間に見える風景はあるがままの美しい自然。その中で規則的な生活を送り、肉体的にも精神的にも最も気持ちのいい日々だったのだと思います」と、すぐにでも山に戻りたいと笑顔で語り、「創立者をはじめ、歩こう会の先輩・後輩、家族など多くの方々に応援され、見守っていただきました。特に創立者には、出発前より心温まるメッセージをいただき、感謝の思いでいっぱいです」と話しました。

この日本山岳会学生部女子ムスタン登山隊は、同会の110周年記念事業として組織され、同部の女性登山隊として初めての未踏峰挑戦でした。挑んだマンセイル峰は、ネパール北部の秘境ムスタンの未踏峰で、地理的にチベットとの国境に位置しているため、これまで入山を許可されてこなかった、標高6242メートルのムスタン地域の盟主ともいうべき山です。

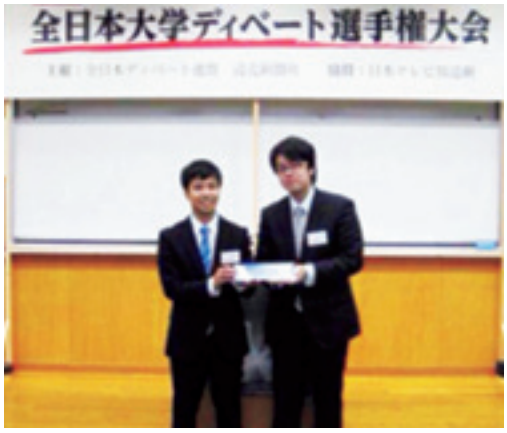
ベースキャンプに入る前から高山病にかかってしまったという長谷川さんですが、体をなんとか調整しながら、険しい岩場を、急な雪の斜面を、時には、絶壁の岩壁に阻まれながら、最後は降雪で視界の悪い中、無事に登頂を成功させました。

◉出発からの行程

9/5…関西国際空港→（空路）→カトマンズ
9/9…カトマンズ→（空路）→ポカラ
9/10-20…ポカラ→（空路）→ジョムソン
→（徒歩）→エクレバッティ/チュサン/サマル/ガミ/ローマンタン/ニャムド/ベースキャンプ（4888m）
9/25…ベースキャンプ→（徒歩）
第1キャンプ（5476m）
9/27…第1キャンプ→（徒歩）
第2キャンプ（5684m）
9/29…第2キャンプ→（登はん）
マンセイル峰登頂

◉帰路の行程

9/30…第2キャンプ→（徒歩）→ベースキャンプ
10/1-8…ベースキャンプ→
（徒歩/車）→ジョムソン
10/9…ジョムソン→（空路）→ポカラ
10/10…ポカラ→（空路）→カトマンズ
10/11…カトマンズ滞在
10/12…カトマンズ23:15発 →（空路）
10/13…成田空港着



全日本ディベート選手権大会

創価大学チームが優勝!!

11月1日、2日に、東京・代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで「第14回全日本大学ディベート選手権大会」(主催: 全日本ディベート連盟、読売新聞社)が行われ、創価大学のチーム"すじょうゆ"が、見事優勝に輝きました。
この創大チームは、糸山明彦さん(文学部1年)、布施陽さん(通教生)の2名で構成され、今大会は27チームが熱弁を繰り広げました。ディベートとは、公の場で一つの論題について、肯定側と否定側に分かれて議論し、その論理性や説得力を競うものです。
創大チームは、準決勝で慶應義塾大学・明治大学・青山学院大学・日本大学の連合チームに勝利。決勝戦では、東京大学チームを破り、勝利の栄冠を手にしました。
糸山さんは「指導・サポートをしてくださった方々、練習をしていただいた方々、共に挑んでくれた先輩、見守ってくれた家族・親戚に心から感謝申し上げます。今後も、自分自身に妥協することなく、日々精進してまいります」と語りました。

経済学部

日本経済ゼミナール 最優秀賞!

11月23日に、関東最大の学生発表会である「第54回日本学生経済ゼミナール関東部会　明治大学大会」(主催:日本学生経済ゼミナール関東部会、協力:日経ビジネス)の本選が明治大学中野キャンパスで行われ、本学経済学部の西浦昭雄ゼミが最優秀賞(第1位)、経営学部の安田賢憲ゼミが審査員賞(第3位)を獲得。これで西浦ゼミは3年連続の最優秀賞となりました。
このプレゼンテーション部門には、27大学の経済、経営、商学部等のゼミから150チームが参加。2度にわたる予選会を勝ち抜いた上位10チームによる発表が、本選で行われました。本学からは、西浦ゼミ1チームと安田ゼミ2チームの計3チームが本選に臨みました。
日経ビジネス編集長、日経BPマーケティング社長、経済産業省産業人材政策室長、野村総合研究所事業推進責任者、早稲田大学教授、実践女子大学教授の6名の審査員からは、「着想力が素晴らしい」「社会課題に対して学生らしくまっすぐに取り組んでいた」などと、高く評価されました。

クラブ活動

世界エイサー大会で本学 イチャリバチョーデーズが特別賞受賞!

9月14日に、沖縄・浦添市の国立劇場おきなわで、「世界エイサー大会2014」(主催:世界エイサー大会実行委員会、浦添市　共催:沖縄県・(公財)国立劇場おきなわ運営財団・(公財)沖縄県文化振興会)が行われ、グランプリ部門本選に出場した創価大学イチャリバチョーデーズが、特別賞に輝きました。沖縄伝統芸能であるエイサーをモチーフとした、オリジナリティのある演舞を行う「世界エイサー大会」は、国内外で活躍するエイサー団体とのネットワーク強化を目的に行われています。今回は、沖縄の島を想い、命を想い、愛する人を想う「うむい(祈り)」と、飛躍する心で演舞することによって感動を与える「ちむどん(感動)」、新しい自分や新しい仲間との出会いが生まれる「しんかぬちゃー(交流・仲間)」の3つをテーマに、キッズ・ジュニア部門とグランプリ部門が開催されました。
グランプリ部門に参加した創価大学イチャリバチョーデーズは、35名で演目「平和(ゆい)ぬ舞 一人(せかい)を照らす太陽たれ」を披露。見事特別賞を受賞しました。

経済学部OG

本学卒業生が 長塚節文学賞大賞を受賞!

9月15日に、茨城・常総市地域交流センターで、「第17回長塚節文学賞」の表彰式が行われ、本学卒業生の小浜朱美さん(執筆名は旧姓の絹谷朱美)が、短編小説部門で最高賞にあたる「大賞」に輝きました。長塚節文学賞は、歌人・作家として知られる長塚節(ながつかたかし)を広く顕彰するため、短編小説・短歌・俳句の三部門について作品を公募し、入選作品集の刊行等を通して、「節のふるさと常総」の文化を発信しているものです。17回目となる今回は、短編小説部門に233編、短歌部門に7,959首、俳句部門に10,883句の計19,075作品の応募があり、離れて暮らす家族の情愛を描いた絹谷さんの作品「四重奏」が、見事大賞を受賞しました。小浜さんは、本学経済学部を卒業し、現在、丸善株式会社に勤務。本学中央図書館のカウンター業務を担当しています。小浜さんは、この受賞に対し「在学中から中央図書館をよく利用し、文豪の全集を読破するなど良書にふれてきました。受賞を機に、作品を読んでくださった方々からたくさんの反響をいただき、大変に感動しています。これからも自分自身を磨きつつ、真摯に創作に取り組んでいきたいと思います」と喜びを語りました。

国家試験 合格者

司法試験や公認会計士試験、税理士試験などの難関とされる国家試験を目指す人のサポートを目的に、法律教育センター、会計税務教育センター、行政教育センターの3つのセンターを設置しています。教員や本学出身の現役弁護士・公認会計士・税理士や合格間もない先輩などの講師陣が、きめ細かい指導を行っています。「2014年度 司法試験」「2013年度 公認会計士試験」「2013年度 税理士試験」の合格者は以下の通りです。

2014年度　司法試験　合格者

山際 康太郎	古川 信博	白鳥 俊昭	石黒 千鶴子	加藤 聡	堤 真吾	長野 静子
乙井 翔太	工藤 竜太郎	大黒 光大	山添 光弘	小山 美穂	大石 誠	田本 伸雄
鈴鹿 勇志	佐藤 英幸	田中 久仁彦	荒井 和子	西村 駿	亀子 伸一	早川 俊明

2013年度　公認会計士試験　合格者

山下 尊信	吉田 良之	阿部 拓也	牧野 和子	矢津 正敏	長田 信一

2013年度　税理士試験　合格者

成増 潤一郎	東 春樹	熊田 士城	知花 昇平	柴田 悟
髙橋 賢治	中桐 拓馬	市川 翔子	木下 清伸	石田 央

2014年度後期 特待生

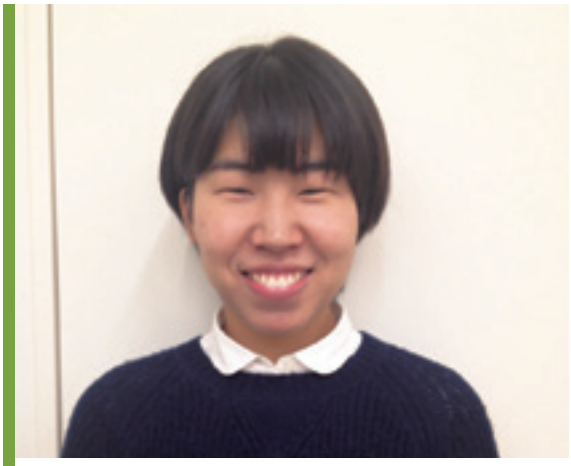
この度、学生部委員会・学部教授会にて審議決定された2014年度後期特待生が発表されました。特待生とはセメスター（半期）ごとに学業成績が優秀な学生を表彰する制度です。

経済学部／16名	経営学部／16名
法学部／18名	教育学部／12名
工学部／15名	文学部／24名
看護学部／4名	国際教養学部／2名

目の前の一人を大切にできる教師に

飯島 光一
教育学部児童教育学科　3年

私は、学生自治会と児童文化研究部に所属し、バイトと勉学の両立に挑戦してきました。時間が少しでもあれば、机に向かうように習慣づけ、何よりも“学ぶことの楽しさを忘れないこと”を意識するように勉学に励んでいます。現在は、自治会員として「創立者の語らい」を深めながら、夢である小学校教員に向けた勉強に挑戦しています。将来は、創立者の御構想である“創価教育”を根本に、目の前の一人を大切にできる教師を目指して成長していきます。



感謝を忘れず、自身の成長で恩返し

松岡 裕佳
看護学部看護学科　2年

看護学部１期生の使命は、後に続く後輩のために道を開くことだと思います。将来「さすが創大出身の看護師さんは違うね」と言われるよう、今、努力を重ねて力を付けています。「人間力」が必要とされる看護師を目指す中で、「人間教育」が根本の創価大学で看護を学べることに誇りを感じています。「看護学部」を開設してくださった創立者をはじめ、創大に送り出してくれた両親、支えてくださる全ての方々への感謝を忘れず、成長をして恩返ししていきます。

第6回(2014年度)創価大学 シュリーマン賞受賞者

同賞は、積極的な国際交流を誇る本学において、語学コミュニケーション能力に秀でた人材のさらなる育成を図り、国際性豊かな世界市民の輩出を目指すことを目的として設置されたものです。2014年度の受賞者を紹介します。

英語	・TOEFL…PBT550点以上、CBT213点以上、iBT80点以上のいずれかを獲得（TOEFL LTP可 550点以上） ・TOEIC…730点以上獲得（TOEIC IP 可 730点以上） ・IELTS 6.0以上・英検準1級以上合格・国連英検 A級以上合格	154名
中国語	・中国語検定2級以上、および中国語HSK5級以上合格	27名
ドイツ語	・ドイツ語技能検定2級以上合格	3名
フランス語	・実用フランス語技能検定2級以上合格	2名
ハングル	・「ハングル」能力検定2級以上合格	1名
日本語	・日本語文章能力検定 2級以上 ・日本語能力試験N1 144点以上合格	1名

創大生の希望となることを目指して

菅野 竣介

文学部人間学科　3年（英語）

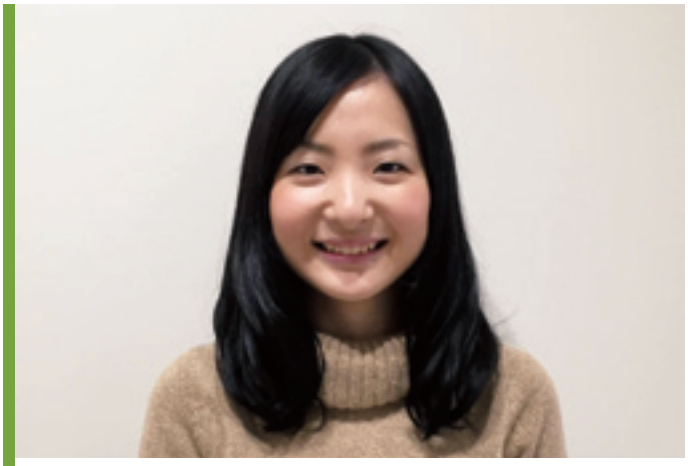
私は、シュリーマン賞受賞時、友光寮で寮長を務めておりました。創立者が「寮は人間教育の生命線」と言ってくださった寮の代表として寮建設に携わらせていただく中で、結果でお応えしたいと、時間を見つけては、図書館に駆け込み、英語の参考書を何度も繰り返し学びました。2015年3月からは留学が決まっています。どんな場所でも創大生の希望になれるよう、世界に友情と信頼を広げられる創立者の精神を受け継ぐ想いで、勉学に励んでいく決意です。

語学力を生かしグローバルに活躍

矢富 諒子

経済学部経済学科　4年（フランス語）

入学時、創立者に「英語とフランス語２カ国語の修得」を誓いました。英語はIP（インターナショナル・プログラム）やイングリッシュフォーラムで、フランス語はフランス語検定試験への挑戦や留学生との交流を通して、２年間、毎日10時間の語学勉強に徹しました。３年生では、フランスへの交換留学を経験し、フランス語力を飛躍的に向上させることができました。今後は、学生生活で培った語学力を生かしグローバルに活躍していきます。



「努力を継続する力」を大切に

深沢 早紀

文学部人間学科　4年（英語）

入学時に留学を決意し、英語の学習に取り組みました。学内施設を利用して自主学習に取り組む中、海外ドラマや英語の音声を聞き流すなど日々英語に触れ続けた結果、3年生の時にはアメリカに交換留学することができました。帰国後もゼミの創大祭展示やプレゼンテーションコンテストへの参加を通して、語学や文化を学ぶ楽しさを感じています。語学の学習を通して得た「努力を継続する力」を大切に、今後も両親への感謝を忘れず、学生生活を送ってまいります。

創立者に激励されて留学。自分を鍛え抜いた5年間

本年3月、41期の学生たちが卒業を迎えますが、41年間で創価大学は大きな変貌を遂げました。一方で建学の精神は変わらずに受け継がれています。その背景には何があるのか、寺西宏友副学長に学生時代の思い出と創価教育についてお聞きしました。

語学と哲学を勉強せよと教えられた中学時代

私は創価大学の4期生ですが、実は創価教育との関係はそれ以前、中学のときから始まっています。1968年、創価中学校が開校したとき、私は北海道から上京して入学しました。当時のことで特に鮮烈に覚えているのが、入学した年の出来事です。懇談会の席で創立者が「皆の質問に答えます。私に聞きたいことがあれば質問して」とおっしゃったのです。

真っ先に手を挙げた先輩が言いました。

「自分は将来南アフリカに行って、アパルトヘイト問題を解決したいと思っています。そのためには何を勉強したらよいでしょうか?」

創立者は「嬉しい質問だな」とおっしゃってから、次のように続けました。

「皆も知っているように、3年後に創価大学が開校します。新しい大学を作るのはとても大変なことです。それでもあえてやろうと思ったのは、世界や人類のために活躍してくれる人材が必ず将来、私の学校から出てくることを願っているからです。そのために苦労したい。だから、君のそういう質問は嬉しい」と。

世界で起こっている様々な問題に関心を抱いている生徒がいたことを喜んでいらっしゃったわけです。

「世界に出て仕事をしよう、活躍しようと思うのなら、一にも語学、二にも語学だよ。最低でも2カ国語はマスターしなさい。また、世界中にはいろいろな考え方、主義主張がある。そういう中で仕事をするには、確固たる生命観や人間観を持つ必要がある。人間の生命とは何なのか、人間存在とは何なのか、そういう哲学を若いときにきちんと学んでほしい」

中国・延安大学から終身教授称号を授与(2008年5月「創価教育同窓の集い」にて)

このとき、「語学と哲学」という言葉が私の心の中にしっかりと刻み込まれた気がします。

創立者の思いが現在のグローバル教育へ

創価大学では、「第3回入学式」と「同年の7月の寮祭」、そして「第4回入学式」で行われた創立者の講演を「草創三部作」と呼んでいます。建学の理念、つまりどういう大学であるべきか、どういう学生を育てるべきかを、明確に示されたものとして語り継がれています。

この三部作の完結編と言われている「第4回入学式」での講演。これは、私が入学した年の講演です。

入学式前に、創立者は1ヶ月半をかけてアメリカや中南米の各地の大学を訪問し、その学長たちと会談をしたり、カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)では講演をしたりなど、精力的に旅をしてこられたのですが、それを踏まえてこんなことをおっしゃいました。

「私が、世界の人々の中を駆け巡るその胸中には、常に大切な、そして心より信頼する諸君の存在があることを知っていただきたい。(中略)〝点〟と〝点〟とを〝線〟で結び、さらにそれを壮大な立体とした世界の平和像をつくりあげていってほしい」

君たちの活躍の場は国内だけではないのだと言われたような気がしました。現在、創価大学はグローバル教育に力を入れています。留学する学生、海外で活躍している卒業生もたくさんいます。

また、文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」にも採択されました。創立者の思いに卒業生や職員、教員の思いが重なって、長い年月をかけて、ようやくここ

Studied abroad after being encouraged by founder Dr. Daisaku Ikeda. Spent five years developing himself.

In March of this year, the 41st class of students will graduate from Soka University. Over the last 41 years, the university has undergone great changes, but the ideals under which it was founded remain the same. We spoke to Soka University Executive Vice-President Hirotomo Teranishi about his time as a student and his opinions on Soka education to learn a bit more about the background behind those changes.

まで来たかと思うと、感慨深いものがあります。

ドイツ語との出会い、そしてドイツ留学へ

私自身は大学院に進んだのち、ドイツのケルン大学に留学しました。

なぜドイツかというと、「語学をマスターしなさい」という創立者の言葉に従って英語を懸命に勉強したのですが、どうも英語は肌に合いませんでした。その代わり、大学で第二外国語に選択したドイツ語は私に合っていたようで、勉強が楽しかったのです。

夢中になって勉強していた私に、こんなことがありました。大学に外国のお客さまをお迎えすることになり、創立者が「皆、英語できちんと挨拶してね」と声をかけられたのですが、私の顔を見ると「あ、君はドイツ語だったね」とおっしゃったのです。

何かの機会にドイツ語を勉強していることを申し上げたかもしれませんが、それを覚えていてくださったのですから、驚くと共に非常に感激しました。それで、ますます本気で勉強しなければと思いました。

このような創立者とのエピソードを持つのは私だけではなく、当時の学生たちは皆それぞれ激励していただいた思い出を持っていると思います。それほど、創立者は一人ひとりの学生をよく覚えていて言葉をかけてくださっていたのです。

ドイツ留学を決心した際は、創立者のフランス、ベルギー、オランダを巡るヨーロッパ視察に同行させていただき、その足でドイツに向かいました。

工学院大学との親善野球大会で創大野球部員を激励

ドイツ語には多少自信があった私でしたが、いざ授業が始まってみると、さっぱり理解できなくて、完全に慣れるまでに２年かかりました。

結局ケルン大学大学院へ進み、５年間ドイツにいて帰国。創価大学の比較文化研究所所属になり、教員の道を歩み始めました。その一方で、創立者とドイツの方がお会いになるときには通訳を務めさせていただきました。

日中友誼農場の開園式にて、中国からの留学生と中国研究会のメンバーを激励

自分たちの時代と全然違う! 卒業生たちが驚く現在の創大

私は現在、卒業生の校友組織である創友会の委員長もしています。創友会は各都道府県に組織されており、各地の会合に私も顔を出して現在の大学の様子をお話しさせてもらっていますが、昔とは様変わりした大学に皆さん驚かれます。

2013年の看護学部開設、2014年の国際教養学部開設、また2015年4月からは新生「理工学部」がスタートするなど、大学の体制は着々と整えられてきました。

それに応えるように、学生も実績をあげています。各種の資格取得はもちろん、国家試験合格者数、就職実績など、草創期とは比較にならない成績を積んでいます。また、スポーツの分野においても全国大会ベスト４の常連となった硬式野球部や箱根駅伝本大会初出場の陸上競技部

第2回創友会総会での記念植樹（1976年11月）

等、その活躍は目覚ましいものがあります。

このように学生が存分に学生生活をおくる応援をしてくださっているのが創友会です。創友会の目的は、創立者の建学の精神と同じ思いで大学を守り、支えていくことです。そのためにも私が力を入れてお願いしている活動が、奨学金のための寄付金の募集です。

創価大学には様々な奨学金が用意されていますが、入学前に申請できるのが創友会による奨学金です。入学金や授業料などの学費の半額を免除する「創価大学創友給付奨学金」、各都道府県につき1名に100万円を一括支給する「創友会ふるさと給付奨学金」などが、卒業生の皆さんの志によって支えられているのです。

世界に触れて たくましくなってほしい

卒業生とひと口にいっても、1期生から40期生までいます。当然、世代によって大学への思いには違いがあります。

私たちのような草創期の卒業生は、大学にお世話になったという感覚が薄いように思います。大学自体がまだ手探りの状態でしたので、大学に頼るのではなく、創立者の激励の言葉を支えに自ら道を切り開いてきたぞという自負があるからです。

一方、年が若ければ若いほど、大学にお世話になったという感覚が強いように感じます。それは大学が進化して学生第一の教育環境が整ってきたことが大きいでしょう。もちろん、これはよいことだと思います。

しかしながら、懸念していることもあります。環境が整うと伸びる学生は伸びますが、一方で人まかせになり、往々にして自ら学んでいくというたくましさに欠ける学生が出てくることです。

では、個々が自ら這い上がるたくましい人材となるためにはどうしたらよいのか。その一つが、学生が世界と直接触れ合うことです。海外に出ることで、自分一人の力で何とかしなければならない局面に出合うことでしょう。

また海外留学だけでなく、海外からの留学生を多く受け入れることで、様々な価値観を持つ留学生と触れ合う場がキャンパスに生まれています。

日々自分と向き合って クレバーに行動しよう

時代が変わっても、創価教育の原点である創始者、牧口先生の「国家や社会のための教育ではなく、個人個人の幸せのための教育」という考え方は不変です。もちろん「社会のニーズに対応できる力をつける」ことも必要ですが、それはあくまでも枝葉の部分です。根っこは「個人個人の幸せのための教育」なのです。

学生の皆さんには、日々自分を見つめて、自分のよいところ、足りないところ、弱いところをしっかり認識して最善の行動を選択できるクレバーな人間になってほしい。そういう人間力がつけば成長できますし、卒業後どこへ行っても通用するはずです。

3月に卒業する41期生には、私は特別の思いがあります。

41期生は、入学式直前に東日本大震災が起こったため、入学式は開催できず、さらに授業開始も1ヶ月遅れて5月からという、前例のない大変な時期に入学されました。

しかし、その中で様々な事を深く考えたことでしょう。ぜひ当時考えたことや経験したことを忘れずに、たくましく人生を切り開いていってほしいと思います。

Profile

寺西 宏友 Hirotomo Teranishi

創価大学副学長、学士課程教育機構長、経済学部教授。1978年、創価大学経済学部経済学科卒業。1983年、創価大学大学院経済学研究科修士課程修了。ドイツ・ケルン大学及び大学院に5年間留学。専門は経済史、西洋史。現在、本学の同窓組織である創友会委員長としても尽力。

Executive Vice-President Soka University, head of the university's SEED program, and professor in the Faculty of Economics. Graduated with an undergraduate degree from Soka University Faculty of Economics in 1978. Awarded his master's degree from the Graduate School of Economics in 1983. Spent five years studying both as an undergraduate and graduate student at Germany's Cologne University. Specialties are economic history and history of the Western world. Currently also active as the chairperson of the Soka University Alumni Association (Soyukai).

「私」の学生時代 — My memory —

地域に根ざしてキラリと光る、卒業生の活躍を紹介します。

教育学部研究室にて

創価大学教育学部講師

ナムリタ・シャルマさん

創価大学別科日本語研修課程修了
創価大学大学院卒業

1994年、デリー大学を卒業後、翌年創価大学別科日本語研修課程に入学。その後、創価大学大学院にて牧口研究を実施。修士課程修了後は、ロンドン大学にて2006年にPh.D.を取得。その後、同大学のリサーチアシスタントとして勤務し、結婚のため渡米。現在は、創価大学教育学部の招聘教員として、グローバル科目の授業を担当している。

デリー大学を卒業して、創価大学別科に入学した背景とは？

上の写真で私が手にしている『MAKIGUCHI AND GANDHI—THEIR EDUCATIONAL RELEVANCE FOR THE 21ST CENTURY（牧口とガンジー　21世紀におけるその影響）』は、ロンドン大学で発表した私の博士論文が本となって刊行されたものですが、まさに創価大学別科からロンドン大学卒業までの研究の成果です。

1992年、当時インドにいた私は友人や書籍を通じ、人間主義教育を行う池田先生の偉大さを実感しました。そして、池田先生が創立された大学で学び、直接池田先生の訓練を受けることが、私にとって最も重要な教育であると確信したのです。

デリー大学商学部を卒業し、1995年４月、創価大学別科日本語研修課程に入学した私は、父とともに創立者とお会いすることができました。

創立者は父に「彼女の創価大学での研究をしっかり見守ってあげてください」と話されました。その後、創価学園の入学式に出席することができた私は、そこで再び創立者と学生たちとの深い結びつきを目のあたりにして感動し、創価教育を研究し、広める決意を新たにしました。

「牧口研究」を行うきっかけは？

創大や創価学園で体感した人間主義教育に大変感銘したのがきっかけです。西洋的な教育を提供している大学の学生の多くは、実生活とはあまりリンクしない教育を受けているように感じます。これに対し、牧口先生は一人ひとりの人生に向き合う人間主義教育を提唱しました。加えて、創立者のマハトマ・ガンジーについて語った本との出会いも私を創価教育研究に駆り立てました。

こうして私は、ガンジーと牧口先生の教育理念の比較をする研究を始めました。その中で、両者の教育理念に人間主義的人生観を基軸とした多くの共通項を見いだし、研究を進めていったのです。

ロンドン大学ではどのような研究生活を送っていましたか？

創価大学大学院を卒業後、ロンドン大学大学院に進みましたが、牧口先生とガンジーの比較研究で博士号を取得することはとても困難でした。欧州では、それほど知られていない牧口先生とガンジー、そして池田先生の哲学を明確にする方法を様々な視点から模索しました。必死に研究を進める中で、指導教授や論文の審査官から高い評価を得ることができました。

この経験を生かし、私は創価教育を普遍的な教育理念として世界に広めたいと思っています。特に、ヒエラルキーや差別制度が未だに顕在するインド社会にとって、最も必要な理念だと思っています。

Taplow Courtでのプレゼンテーション（2005年7月）

最後に創大生へのエールをお願いします

創価大学はすべての学生、卒業生、そして私にとっても「精神のふるさと」です。世界のどこに住んでいても、創大精神は私たちと共にあります。それは人間主義教育の精神であり、深い友情の精神、そして何より創立者池田先生の精神そのものといえます。

グローバル科目授業の様子

創立者の精神とは、私たちがそれぞれの個性を生かして、世界市民として、世界平和に貢献していくことだと思います。創大生の皆さんは、この創立者の精神を胸に、また、どうかこの素晴らしい人間主義教育の城を築いてこられた先輩方のことを忘れず、それぞれの立場で世界平和に貢献していただきたいと願っています。

創価女子短期大学　トピックス

Soka Women's College Topics

30周年記念事業として短大白鳥会奨学金を新設します！！

2015年度より、創価女子短期大学の卒業生の組織である短大白鳥会の支援により、
給付型の2つの奨学金がスタートする運びとなりました!

開学 30 周年記念 短大白鳥会給付奨学金

申込時期：4 月の奨学金ガイダンス
採用決定：6 月下旬

特　典：20 万円を給付
対　象：全短大生
採用数：30 名

開学 30 周年記念 短大白鳥会 SUA 短期留学サポート奨学金

特　典：15 万円を給付
対　象：SUA 短期留学プログラム参加者全員

※「創価女子短期大学給付奨学金」「創価女子短期大学牧口記念教育基金会奨学金」との併願は可能ですが、併用はできません。

開学30周年記念講演会開催！

10月30日、開学30年を記念する講演会を、講師に歌手でエッセイストのアグネス・チャンさんを迎えて開催しました。講演会は「女性にやさしい日本になれたのか」とのテーマで行われ、アグネスさんはご自身の経験を通しながら、約60分間にわたって次代を担う若い短大生にあたたかなエールを送ってくださいました。
講演会終了後は短大生の代表から花束と短大友誼乃証を贈呈。その後、参加した短大生全員で短大歌「誉れの青春」を合唱し、講演に対する短大生の感謝の思いを届けることができました。アグネスさんが短大を出発される際には多くの短大生が見送りにロビーに集まり、みなでアグネスさんの歌「そこには　幸せが　もう生まれているから」を合唱しました。

大野ゼミ簿記大会優勝！

現代ビジネス学科の大野ゼミナールが、11月8日実施の2014年秋季全国大学対抗簿記大会（主催：資格の大原、大原大学院大学）に出場しました。本大会では大宮会場において、3級及び2級の部の団体戦と個人戦にエントリー。このうち3級の部団体戦において1年生からなるBチーム（松村真菜さん、渡辺夏菜恵さん、内野英恵さん、行木秀子さん、古川千恵子さん）が出場59チームの頂点に輝き、見事全国優勝を果たすことができました。なお3級団体戦における全国優勝は2012年秋季大会以来2度目となります。
また、3級個人戦の部でも、松村真菜さんが大宮会場で優勝（全国3位）、また同じ部では知念幸代さん、内野英恵さん、古川千恵子さんも大宮会場で2位入賞（全国13位）の好成績を上げることができました。
さらに、翌9日には簿記チャンピオン大会（主催：資格の学校TAC）に出場。本大会では渋谷会場において2級の部の団体戦と個人戦にエントリー。2級個人戦において、現代ビジネス学科2年の一色香菜さんが渋谷会場で見事優勝（全国8位）を果たすことができました。また同じ部門にエントリーした1年生の中島里奈さんも同会場で3位入賞（全国29位）することができました。

健康を科学する

第4回 感染症対策

これからの季節、インフルエンザやノロウイルスなどによる感染症が流行します。予防と対策について確認しましょう。

看護学部
藤田 美江 准教授
看護学修士
専門は地域在宅看護学
北里大学を経て現職

1. インフルエンザにかからないため

予防の基本は、流行前にインフルエンザワクチンを接種することです。流行したら、感染した人の咳やくしゃみ、つばなどに含まれるウイルスを吸い込まないよう、外出時のマスク着用がポイントです。

2. マスク正しく使っていますか?

マスクの不適切な使用をよく見かけます。①鼻が覆われていない。②下あごがあいている。③顔（鼻根部周囲）とマスクにすきまがある。④マスクの向きが逆（プリーツを広げたときポケットができている）。⑤外すときにマスクに触る。正しくつけないと、十分な効果はありません。咳やくしゃみがあるのにマスクがないときは、ティッシュなどで口や鼻を押さえましょう。

3. ノロウイルスの二次感染に注意

ノロウイルスによる感染症は、ウイルスを含む牡蠣などの二枚貝を十分加熱しないで食べた場合に起こることが知られていますが、感染した人の糞便や吐物、人の手を介して二次感染するため注意が必要です。主な症状は、吐き気、嘔吐、下痢などです。嘔吐物や下痢便にはノロウイルスが多量に含まれていて、乾燥すると空中にただよい、口に入って感染することがあります。そのため、感染源となるものは確実に処理する必要があります。

4. 嘔吐物・下痢便の処理は確実に

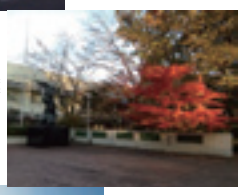
ノロウイルスを吸い込まないように、マスクと手袋をしっかり着用してください。ウイルスが飛び散らないようペーパータオルなどで周囲を囲み、中心に向かってまとめながら拭き取ります。ノロウイルスにはエタノールやせっけんでは効果がありません。拭き取った後は、次亜塩素酸ナトリウム（商品名:ハイター、ブリーチなど）で浸すように拭き取ります。拭き取りに使用したペーパータオル、マスク、手袋はビニール袋に密閉して廃棄してください。

communico

創大投稿サイト

今回は、秋の風景写真を中心に紹介します。
ＳＵＮに載せきれなかった作品も
ホームページから見ることができます。

未来へ飛躍し行く
創価大学



ブロンズ像横の
紅葉

正門で学徒を照
らす健気な花

創価大学の第41回夏季大学講座「励ましの対話＆笑いの対話」があり、長崎伸二教授の講義中に、ゲスト（?）で30分の講義をさせて頂きました。落語研究会の後輩であるジャガモンドもゲストで漫才の披露！落語研究会OBとして、今後の活躍を誓い合いました！

創大・短大の風景やキャンパスライフ等、皆さんの投稿をお待ちしています。

コムニコへの投稿は

communicoホームページ http://soka-communico.tumblr.com/submit/ に携帯、パソコン、QRコードから簡単にアクセスできます。もちろん、メールでの投稿も可能。携帯、パソコンから ou3zophz7wvie@tumblr.com へ画像、動画、テキストを添付して投稿してください!

コムニコ ホームページQRコード

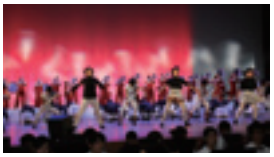
キャンパスニュース CAMPUS NEWS

第44回創大祭・第30回白鳥祭を開催

The 44th Soka Festival and 30th Swan Festival held

第44回創大祭、第30回白鳥祭が10月12日、13日に晴れやかに開催されました。
12日には、中国京劇の巨星・梅蘭芳（メイ・ランファン）生誕120周年を記念して、中国の「無形文化遺産継承人(人間国宝)」である梅葆玖(メイ・バオジウ)氏が講演を行い、本学の非常勤講師である、袁英明（エン・エンメイ）氏が、梅蘭芳の代表作「覇王別姫」の一幕を披露しました。
また、11日には「創価栄光の集い」が行われ、創大最高栄誉賞が企業5社に授与され、さらに、中国人民対外友好協会・李小林会長が記念講演会を行いました。
記念の祭典は、滝山太鼓とプライド・オブ・ソウカの勇壮な演奏で幕を開け、銀嶺合唱団による合唱「桜花縁」、クルーダンス部とプライド・オブ・ソウカによる演奏とダンスの圧巻のパフォーマンス、短大生とボーカルグループによる合唱、留学生の感動のダンス、各語学研究会の代表による外国語でのスピーチが披露されました。

李小林会長の講演


ダンスパフォーマンス

滝山太鼓

梅葆玖氏の講演

1日体験創大生。「Campus Academic Visit」を開催

Experience a day as a Soka student – Campus Academic Visit.

9月23日、11月3日の2回にわたり、本学キャンパスで「Campus Academic Visit（キャンパス・アカデミック・ビジット）」が開催されました。
これは、高校生・既卒生を対象に、祝日の通常授業日を利用して、学生と一緒に授業を受けるなど、1日体験創大生として過ごしてもらうイベントです。
本年は2回合計で、のべ約160名の高校生・既卒生が参加。各学部の授業を受講するほか、教員・学生との懇談会や、キャンパス内の自由見学など、大学生活を体験しました。
参加者からは「一緒に教室にいた創大生の真剣に学ぶ姿に本当に啓発されました。授業内容は分からないところもありましたが、大学の授業の雰囲気を十分体験できました」「国際教養学部の授業に参加しましたが、90分全部英語でした。高校でもオールイングリッシュの授業はありますが90分は初体験でした。難しいところもありましたが、先生が身振り手振りで私たちに教えてくださる姿に、学生第一の雰囲気を感じました」などの声が寄せられました。

牧口記念教育基金会奨学金証書授与式を開催

Makiguchi Memorial Educational Foundation Scholarship Ceremony

9月26日、中央教育棟GLOBAL SQUAREで牧口記念教育基金会奨学金の奨学生証書授与式が行われました。
同奨学金は、牧口記念教育基金会の助成により2012年に創設された、学部生を対象とした奨学金です。2013年度より看護学部生を対象とした創価大学牧口記念教育基金会看護学部生奨学金も新設されました。
授与式では中泉明彦看護学部長が挨拶し、牧口常三郎先生の弟子である戸田城聖先生の奥様が看護師であったことにふれ、牧口先生の名前を冠した奨学金をいただける看護学部生の使命の大きさを訴えました。次に、馬場善久学長がアメリカの大学院在学当時、奨学金を受けて真剣に学んだことなど、自身の体験を通し、「奨学金を有効に利用し、社会で活躍できる人材となるよう、学業を頑張っていただきたい」と語りました。
牧口記念教育基金会の梶岡誓理事長からは「創価大学は、教育内容、教育環境ともに、大きく発展し、今、黄金時代に入ったと感じています。あらゆる人々に 夢と希望を与えたいという牧口常三郎先生の心を引き継いでいただきたいと思います。牧口先生が著した『人生地理学』や『創価教育学体系』なども是非勉強し、皆様の学業の進展がなされることを願っています」と励まし、梶岡理事長より一人ひとりに奨学生証書が授与されました。
最後に、田代康則理事長は、「ご支援くださる多くの方々のおかげで、創価大学は、素晴らしい教育環境になっています。向上心、感謝の気持ちを常に胸に抱きながら、勉学に励み、成長の人生を歩んでいっていただきたい」と、奨学生に大きな期待を寄せました。

第17回「菊花展示会」を開催

The 17th Chrysanthemum Festival held

11月1日から5日まで、正門前で菊花展示会が開催されました。今回で17回目を迎えたこの菊花展では、地元の加住菊友会の方々や加住中学校生の方々が丹精を込めて育て上げた盆養、懸崖、福助など、130鉢の菊が所狭しと展示され、鑑賞者の目を楽しませていました。

八王子消防署より「自衛消防の組織業務適切功労」の感謝状

Letter of appreciation from Hachioji Fire Department
"In recognition of proper organizational firefighting operations."

11月7日、八王子労政会館にて八王子消防署による「火災予防業務協力者表彰式」が行われ、学校法人創価大学自衛消防隊に対し「自衛消防の組織業務適切功労」の感謝状が贈られました。
これは、自衛消防の重要性を深く認識し、自衛消防活動体制の確立を図るとともに、積極的に訓練に励み、災害の防止に寄与したとして、八王子市内の5団体・個人に贈られ、本学の自衛消防隊員が感謝状を受けました。

モスクワ大学ホフロフ副総長による講演会を開催

Moscow University Vice-Rector Alexei Khovlov gives lecture presentation

11月14日、モスクワ大学のアレクセイ・ホフロフ副総長による講演会が行われました。副総長は、「創価大学とモスクワ大学の交流は、私の父（R・V・ホフロフ氏）がモスクワ大学総長をしていた1974年に、モスクワ大学構内で行われた会見に始まります。父が亡くなったときも、池田先生は自宅にお越しくださり、家族を励ましてくださいました。心から感動したことを覚えています。今回の講演で少しでも恩返しができればと思っています」と語りました。

エネルギーの未来を考える「熱電プラザ2014」で中央教育棟の見学会を実施

Thinking about the future of energy – Providing Global Square tours at Thermoelectric Plaza 2014

11月20日、「熱電プラザ2014」の開催に伴い、中央教育棟GLOBAL SQUAREの施設見学会が行われ、大学関係者など約50名が参加しました。「熱電プラザ2014」は、東京ガス株式会社と一般社団法人日本ガス協会の主催にて「エネルギーの未来を考える」をテーマに、東京ビックサイトを本会場として開催。このイベントの中で、大学関係者に向けて、環境デザインへの取り組みや、設備システムの効率化などに優れたキャンパスの見学会が行われ、見学先の一校として中央教育棟GLOBAL SQUAREが選出されました。当日は、ディスカバリーホールで施設設備の説明がされた後、太陽光発電設備や、4階ラウンジ、地下1階ラウンジなどを見学し、2階ラーニング・コモンズ“SPACe”を、2グループに分かれて、学生スタッフが案内しました。参加者からは、「ラーニング・コモンズ“SPACe”の運用に感動しました。教職員・学生の皆さんの尽力がないと、とてもここまではできないと感じました」などの感想が寄せられました。

2014年度スピーチコンテスト、シンポジウムを開催

2014 Speech Contest Symposium held

創価大学恒例のスピーチコンテストとシンポジウムが、昨年の11月から12月にかけて、学内で開催されました。1974年（昭和49年）、創立者は日中友好を担う青年交流のために、中国語弁論大会の開催を提案。その年の秋、第1回の中国語弁論大会が行われて以来、弁論大会は創価大学の伝統行事となっています。中国語はもとより、英語、ロシア語、ドイツ語などで実施されるようになり、大会の趣旨に賛同した他大学の学生や社会人も登壇しています。開催したスピーチコンテスト、シンポジウムは右の通りです。

スピーチコンテスト

	主催
ハングル	ハングル文化研究会
英語	英語研究会
手話	Mission Hands
スペイン語	ラテンアメリカ研究会
スワヒリ語	パン・アフリカン友好会
中国語	中国語研究会
ドイツ語	ドイツ語研究会
ロシア語	ロシア研究会

シンポジウム

	主催
創価教育	創価教育学研究会
東北復興	東北SUNRISE
アジア	東南アジア研究会

2014年度 創価大学「トップが語る現代経営」を開催

2014 "Modern Management According to Leaders in the Field" held

日本を代表する企業のトップを招き、各企業の理念や将来像、そして、学生へのアドバイスなどを語って頂く授業が共通科目「トップが語る現代経営」です。
全学部・学科の学生が受講できる共通科目の一つとして、1995年に開講してより、本年で20年目となり、これまでに多くの方を講師としてお迎えすることができました。
特に、最近の経済界は変化が激しく、その中で日夜活躍されている経営者の方々から、直接、「生きた経営」を語って頂くことは、大変貴重な体験であり、学生に大人気の授業です。
本科目は、日本のビジネス界を動かしているトップの方々の視点から見た現実の社会を開示する講義であり、創大生にとって、単に企業経営にとどまらず、社会で活躍する人間としての考え方や行動を学べる絶好の機会となっています。また、1998年度以降の講義から書籍化となり、第1巻～33巻まで好評発売中です。

2014 年度 創価大学「トップが語る現代経営」

回	月日	企業名	講師	役職名
1	9月24日	日本製紙株式会社	芳賀 義雄 氏	代表取締役会長
2	10月1日	株式会社紀伊國屋書店	高井 昌史 氏	代表取締役社長
3	10月8日	株式会社河北新報社	一力 雅彦 氏	代表取締役社長
4	10月15日	株式会社日本香堂ホールディングス	小仲 正久 氏	代表取締役会長兼社長
5	10月22日	株式会社三菱総合研究所	小宮山 宏 氏	理事長
6	10月29日	サントリーホールディングス株式会社	新浪 剛史 氏	代表取締役社長（元株式会社ローソン代表取締役会長）
7	11月5日	株式会社安川電機	利島 康司 氏	特別顧問
8	11月12日	野村ホールディングス株式会社	渡部 賢一 氏	常任顧問
9	11月19日	武田薬品工業株式会社	長谷川 閑史 氏	代表取締役・取締役会長・CEO
10	11月26日	東京海上ホールディングス株式会社	隈 修三 氏	取締役会長・代表取締役
11	12月3日	株式会社朝日新聞社	木村 伊量 氏	代表取締役社長
12	12月10日	株式会社東急百貨店	二橋 千裕 氏	代表取締役社長執行役員
13	12月17日	株式会社ジェイティービー	田川 博己 氏	代表取締役会長

野村證券×創価大学ワークショップ（経営学部・法学部連携）がスタート

The workshop NOMURA SECURITIES and Soka University hold starts!

経営学部と法学部が連携して行う「ビジネス&ロー・ワークショップ（実践型の産学連携プログラム）」が、2014年9月19日から開始されました。
本ワークショップは、社会問題分析力を磨くために、野村證券株式会社から招聘したエキスパートが指導する選抜30名のプロジェクト型授業です。両学部の学生は、協働ワークを通して世界や日本における社会問題の解決に取り組み、企業が求める分析力、企画力、プレゼン力などのスキル、またビジネスや法務の高度な知識を身に付けます。
第1回目の授業では、野村證券の担当講師・藤原誠一氏により、日々変化する金融、経済動向の捉え方など、現代社会において、いかに問題を発見し解決策を提示していくかという、本ワークショップの目的が語られました。
2回目以降の授業では、チームに分かれ実務家を交えて議論を重ねるなど、最終的には社会が抱える問題解決のための提案を行っていきます。
第1回目の授業をうけて、学生からは、「実務をされている方々からの視点を取り入れることで、より深いワークができると感じています。これからの講座がさらに楽しみになりました」（経営学部2年）、「時系列に沿って歴史を振り返りながらヒントとなる多くのキーワードを提示して頂いたので、今後のグループワークに大いに役立てていきたいです。金融、食糧やエネルギーといった多岐にわたる世界の経済事情についてわかりやすく教えて頂き、非常に充実した90分でした」（法学部3年）などの声がありました。

2015年度 入学試験日程

創価大学

	出願期間	試験日	合格発表
大学入試センター試験利用入試（前期3科目・4科目）	2014年12月18日（木）～2015年1月16日（金）	2015年1月17日（土）・18日（日）　※センター試験を受験	2015年2月12日（木）
全学統一入試	2014年12月18日（木）～2015年1月21日（水）	2015年2月3日（火）	2015年2月12日（木）
一般入試	2014年12月18日（木）～2015年1月21日（水）	経済・法・教育学部 2015年2月7日（土）	2015年2月18日（水）
		経営・文・国際教養学部 2015年2月8日（日）	
		看護学部・理工学部 2015年2月9日（月）	
大学入試センター試験利用入試（後期3科目）	2015年2月25日（水）～3月4日（水）	2015年1月17日（土）・18日（日）　※センター試験を受験	2015年3月14日（土）

創価大学　一般入試試験場一覧

★東　京	創価大学	八王子市丹木町1-236
★札　幌	TKP札幌カンファレンスセンター	札幌市中央区北三条西3-1-6
★仙　台	TKP仙台西口ビジネスセンター	仙台市青葉区本町1-5-31
松　戸	明生情報ビジネス専門学校3号館	松戸市新松戸1-130
さいたま	マロウドイン大宮	さいたま市大宮区桜木町2-173
新　潟	新潟公務員法律専門学校	新潟市中央区弁天2-4-21
静　岡	静岡商工会議所会館	静岡市葵区黒金町20-8
★名古屋	名古屋プライムセントラルタワー	名古屋市西区名駅2-27-8
★大　阪	TKP大阪梅田駅前ビジネスセンター	大阪市北区堂山町17-13
広　島	広島国際会議場	広島市中区中島町1-5
高　松	サンポートホール高松	高松市サンポート2-1
★福　岡	リファレンス駅東ビル	福岡市博多区博多駅東1-16-14
★那　覇	那覇尚学院（別館）	那覇市泊2-17-4

★全学統一入試も同じ会場で行います。

創価女子短期大学

	出願期間	試験日	合格発表
一般入試	2015年1月5日（月）～1月23日（金）	2015年2月4日（水）	2015年2月13日（金）

創価女子短期大学　一般入試会場一覧

東　京	創価女子短期大学	八王子市丹木町1-236
札　幌	TKP札幌カンファレンスセンター	札幌市中央区北三条西3-1-6
仙　台	TKP仙台西口ビジネスセンター	仙台市青葉区本町1-5-31
名古屋	名古屋プライムセントラルタワー	名古屋市西区名駅2-27-8
大　阪	TKP大阪梅田駅前ビジネスセンター	大阪市北区堂山町17-13
福　岡	リファレンス駅東ビル	福岡市博多区博多駅東1-16-14
那　覇	那覇尚学院（別館）	那覇市泊2-17-4

配布中

願書（入試要項）

創価大学、創価女子短期大学の願書（入試要項）や、キャンパスガイド2015がご請求いただけます。ホームページからご請求ください。資料請求いただいてから到着まで3日程度かかります。お急ぎの方は、創価大学アドミッションズセンター（042-691-4617）へお問い合わせください。

https://www.umcnavi.jp/soka/soka.asp

資料請求用QRコード

ネット出願　創価大学ネット出願で検索

入試ごとに検定料を3000円割引！

センター利用、全学統一、
一般入試のすべてをネット出願で行うと、
合計9000円割引！

受験生応援メッセージ

上手くいかずに焦ることもあるかと思います。でもそれは挑戦している証拠です！今の苦労が必ず勝利に繋がると信じています。創大で待っています！
文学部4年 奈良部 友美さん

この時期は大学生活を思い描きながら、受験勉強のモチベーションを上げていました。皆さんがイメージした創大生活を送れるよう心から応援しています。
法学部3年 神戸 幸一さん

OPEN CAMPUS 2015　3/22（日）　5/3（日）・4（月）　8/1（土）・2（日）・23（日）　2016 3/20（日）
開催時間／10:00～16:00

編集部からのお知らせ

編集部では読者の皆さまの声を募集しています。感想などありましたら、下記までお寄せください。これからも充実した誌面づくりに努めてまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。
FAX：042-691-9300　E-mail：sun@soka.ac.jp

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C014687
FSC www.fsc.org
VEGETABLE OIL INK

Soka University News 84号　○編集発行／Soka University News 編集委員会　○発行責任者／田代康則　○編集長／宮田博明　〒192-8577 東京都八王子市丹木町1丁目236番地 Tel: 042(691)2215 Fax: 042(691)9300　ホームページ／http://www.soka.ac.jp　2015年1月発行